

礼拝メッセージフィードバック

<今日の聖書箇所は…>

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

セル ガイド

- ①祈り、賛美によって主がここにいてくださることを信じ、聖霊様をさがめます。
- ②互いの存在を感謝し、尊敬するところを分かち合しましょう。
- ③ディボーションの分かち合いをします。
- ④セルの目的と働きについてみなで共有して、祈り、遣わされて行きましょう。

家族礼拝ガイド

年長のクリスチャンがリードしてください。進め方にはいろいろな意見が出るかもしれませんが、「主に期待する」信仰が最も大切です。いつもの家族でいいのです。

- ①この1週間で神様はすばらしいと感じたのはどんなこと？
- ②この1週間でお互いにどんなことを感謝しますか？（または誉めたいですか？）1つだけ。
- ③聖書のみことばから、どんな実践をして、またどんな恵みがありましたか？
- ④互いの必要のために祈りましょう。

ディーヴォ ガイド



2026.1.5-11

But **grow** in the grace and knowledge of our Lord and Savior Jesus Christ. To him be glory both now and forever! Amen. II Peter 3:18

L T G ガイド

- ①お互いへの感謝と誉めることを分かち合しましょう。（1～3つ）
- ②1週間の罪を言い表して悔い改め、互いに祈りましょう。
- ③礼拝メッセージの分かち合いをします。
礼拝メッセージの分かち合いが難しい場合はディボーションの分かち合い（なるべく短く）
- ④預言の祈り（主の御心を宣言して祈り）をします。

3:13 兄弟たち。世があなたがたを憎んでも、驚いてはいけません。

3:14 私たちは、自分が死からいのちに移ったことを知っています。兄弟を愛しているからです。愛さない者は死のうちにとどまっています。

3:15 兄弟を憎む者はみな、人殺しです。あなたがたが知っているように、だれでも人を殺す者に、永遠のいのちがとどまることはありません。

3:16 キリストは私たちのために、ご自分のいのちを捨ててくださいました。それによって私たちに愛が分かったのです。ですから、私たちも兄弟のために、いのちを捨てるべきです。

3:17 この世の財を持ちながら、自分の兄弟が困っているのを見ても、その人に対してあわれみの心を閉ざすような者に、どうして神の愛がとどまっているでしょうか。

3:18 子どもたち。私たちは、ことばや口先だけではなく、行いと真実をもって愛しましょう。

3:19 そうすることによって、私たちは自分が真理に属していることを知り、神の御前に心安らかにいられます。

3:20 たとえ自分の心が責めたとしても、安らかにいられます。神は私たちの心よりも大きな方であり、すべてをご存じだからです。

3:21 愛する者たち。自分の心が責めないなら、私たちは神の御前に確信を持つことができます。

3:22 そして、求めるものを何でも神からいただくことができます。私たちが神の命令を守

り、神に喜ばれることを行っているからです。

3:23 私たちが御子イエス・キリストの名を信じ、キリストが命じられたとおりに互いに愛し合うこと、それが神の命令です。

3:24 神の命令を守る者は神のうちにとどまり、神もまた、その人のうちにとどまります。神が私たちのうちにとどまっておられることは、神が私たちに与えてくださった御霊によって分かります。

人を愛するというのは、クリスチャンにとって最高の課題であり、また誉れです。「ことばや口先だけ」ではなく、自分自身を捨てて愛することができるなら、それは本物です。

それは神様と自分自身との関係にも影響します。「自分が真理に属している」ことが分る、すなわち神の子であることを確認するためには、愛の行いをするのが一番なのです。

愛とは一方的なものです。見返りを求めないで愛してみましょう。そのような愛は人にも良い影響を与えますから、そのような家庭、教会、人生になっていきます。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（気持や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は抜おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



6日 火曜

ヨハネ I



4:1 愛する者たち、霊をすべて信じてはいけません。偽預言者がたくさん世に出て来たので、その霊が神からのものかどうか、吟味しなさい。

4:2 神からの霊は、このようにして分かります。人となって来られたイエス・キリストを告白する霊はみな、神からのものです。

4:3 イエスを告白しない霊はみな、神からのものではありません。それは反キリストの霊です。あなたがたはそれが来ることを聞いていましたが、今すでに世に来ているのです。

4:4 子どもたち、あなたがたは神から出た者であり、彼らに勝ちました。あなたがたのうちにおられる方は、この世にいる者よりも偉大だからです。

4:5 彼らはこの世の者です。ですから、世のことを話し、世も彼らの言うことを聞きます。

4:6 私たちは神から出た者です。神を知っている者は私たちの言うことを聞き、神から出していない者は私たちの言うことを聞きません。それによって私たちは、真理の霊と偽りの霊を見分けます。

4:7 愛する者たち。私たちは互いに愛し合いましょう。愛は神から出ているのです。愛がある者はみな神から生まれ、神を知っています。

4:8 愛のない者は神を知りません。神は愛だからです。

4:9 神はそのひとり子を世に遣わし、その方によって私たちにいのちを得させてくださいました。それによって神の愛が私たちに示されたのです。

4:10 私たちが神を愛したのではなく、神が私

たちを愛し、私たちの罪のために、宥めのささげ物としての御子を遣わされました。ここに愛があるのです。

4:11 愛する者たち。神がこれほどまでに私たちを愛してくださったのなら、私たちもまた、互いに愛し合うべきです。

4:12 いまだかつて神を見た者はいません。私たちが互いに愛し合うなら、神は私たちのうちにとどまり、神の愛が私たちのうちに全うされるのです。

自分は霊的に敏感だという人もいます。そのような賜物が与えられているのかも知れませんが、それだけで満足することはできません。霊を見分けることが何より大切で、それができなければ結局サタンに影響されてしまいます。

「イエス・キリストを告白する」かどうかが決定的な見分け方です。キリスト教でも不思議なことをしたり、奇蹟の集会などがありますが、それもやはり見分ける必要があります。誰か人間がほめられていたり、誇っていたり、または権威になっていたら、それは警戒する必要があります。その指導者の心がイエス様から離れているかもしれません。

自分自身の言動もまたよく吟味してみましょう。イエス様を愛する思いから出ているでしょうか。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（気持や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



7日 水曜

ヨハネ I



4:13 神が私たちに御霊を与えてくださったことによって、私たちが神のうちにとどまり、神も私たちのうちにとどまっておられることが分かります。

4:14 私たちは、御父が御子を世の救い主として遣わされたのを見て、その証しをしています。

4:15 だれでも、イエスが神の御子であると告白するなら、神はその人のうちにとどまり、その人も神のうちにとどまっています。

4:16 私たちは自分たちに対する神の愛を知り、また信じています。神は愛です。愛のうちにとどまる人は神のうちにとどまり、神もその人のうちにとどまっておられます。

4:17 こうして、愛が私たちにあって全うされました。ですから、私たちはさばきの日に確信を持つことができます。この世において、私たちもキリストと同じようであるからです。

4:18 愛には恐れがありません。全き愛は恐れを締め出します。恐れには罰が伴い、恐れる者は、愛において全きものとなっていないのです。

4:19 私たちは愛しています。神がまず私たちを愛してくださったからです。

4:20 神を愛すると言いながら兄弟を憎んでいるなら、その人は偽り者です。目に見える兄弟を愛していない者に、目に見えない神を愛することはできません。

4:21 神を愛する者は兄弟も愛すべきです。私たちはこの命令を神から受けています。

伝道してもっと多くの人を救いに導きたいと思っている人は多いでしょう。または伝道してもなかなか神を感じてもらえないと、難しさを話題にするこ

ともあります。

そんなときは12節の「いまだかつて神を見た者はいません。私たちが互いに愛し合うなら、神は私たちのうちにとどまり、神の愛が私たちのうちに全うされるのです。」のみことばを思い出す必要があります。

口で「神様はいるよ」「イエス様を信じて」と言うだけでは、まだ不十分で、私たちクリスチャンが互いに愛し合うなら、世の人々は神の存在を心に留めるというのです。

兄弟姉妹を愛することは、自分の決心次第です。その決心は「イエスが神の御子であると告白するなら、神はその人のうちにとどまり、その人も神のうちにとどまっています。」という確信から始まります。そしてもっと愛の実践を行うことで、誰かの救いを近づけることができるでしょう。伝道も兄弟姉妹を愛することから始まるのです。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（気持や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



8日 木曜

ヨハネ I



5:1 イエスがキリストであると信じる者はみな、神から生まれたのです。生んでくださった方を愛する者はみな、その方から生まれた者も愛します。

5:2 このことから分かるように、神を愛し、その命令を守るときはいつでも、私たちは神の子どもたちを愛するのです。

5:3 神の命令を守ること、それが、神を愛することです。神の命令は重荷とはなりません。

5:4 神から生まれた者はみな、世に勝つからです。私たちの信仰、これこそ、世に打ち勝った勝利です。

5:5 世に勝つ者とはだれでしょう。イエスを神の御子と信じる者ではありませんか。

5:6 この方は、水と血によって来られた方、イエス・キリストです。水によるだけではなく、水と血によって来られました。御霊はこのことを証しする方です。御霊は真理だからです。

5:7 三つのものが証しをします。

5:8 御霊と水と血です。この三つは一致しています。

5:9 私たちが人の証しを受け入れるのであれば、神の証しはそれにまさるものです。御子について証しされたことが、神の証しなのですから。

5:10 神の御子を信じる者は、その証しを自分のうちに持っています。神を信じない者は、神を偽り者としています。神が御子について証しされた証言を信じていないからです。

5:11 その証しとは、神が私たちに永遠のいのちを与えてくださったということ、そして、そのいのちが御子のうちにあるということで

す。

5:12 御子を持つ者はいのちを持っており、神の御子を持たない者はいのちを持っていません。

イエスをキリスト、すなわち救い主と信じる私たちは、「神から生まれた」のです。またイエス様は死に打ち勝った勝利者であり、何よりも全能の神ですから、私たちもまた「世に勝つ」者です。

自分中心のままで成長していないクリスチャンは、救われただけで留まっていますが、神様を生き神様を愛するクリスチャンは、他のクリスチャンをも愛します。その人もまたイエス様によって「生まれた者」だからです。

また神様を愛しますから、その愛する方の命を喜んで守りたいと思います。

自分自身の中に、主に従いたい、人を愛するようになりたいという恩もいが与えられていることに気づきましょう。そしてそれを実践して、さらに神様のみわざを体験しましょう。それは想像以上に喜びが湧いてくる体験です。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちなど）

②どんな思いになりましたか？（気持や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



➤ 9日 金曜

ヨハネ I



5:13 神の御子の名を信じているあなたがたに、これらのことを書いたのは、永遠のいのちを持てていることを、あなたがたに分らせるためです。

5:14 何事でも神のみこころにしたがって願うなら、神は聞いてくださるということ、これこそ神に対して私たちが抱いている確信です。

5:15 私たちが願うことは何でも神が聞いてくださると分かるなら、私たちは、神に願い求めたことをすでに手にしていると分かります。

5:16 だれでも、兄弟が死に至らない罪を犯しているのを見たなら、神に求めなさい。そうすれば、神はその人にいのちを与えてくださいます。これは、死に至らない罪を犯している人たちの場合です。しかし、死に至る罪があります。これについては、願うようには言いません。

5:17 不義はすべて罪ですが、死に至らない罪もあります。

5:18 神から生まれた者はみな罪を犯さないこと、神から生まれた方がその人を守っておられ、悪い者はその人に触れることができないことを、私たちは知っています。

5:19 私たちは神に属していますが、世全体は悪い者の支配下にあることを、私たちは知っています。

5:20 また、神の御子が来て、真実な方を知る理解力を私たちに与えてくださったことも、知っています。私たちは真実な方のうちに、その御子イエス・キリストのうちにいます。この方こそ、まことの神、永遠のいのちです。

5:21 子どもたち、偶像から自分を守りなさい。

最近、救われている実感が薄いなどという人もいるかもしれません。そういう人のためにも、ヨハネはこの手紙を書きました。救われている者はあらゆる点で、神から出ていない人とは違っているのです。

さらには祈りに答えていただけるという恵があります。救われている者は神様を愛していますから、「みこころにかなう願いをする」ことになります。であるならば「神はその願いを聞いてくださる」のです。

自分では気づいていないかもしれませんが、私たちの願いは神様のみこころであることが多いのではないのでしょうか。もっと願ってみましょう。主の最善の時と主の最善の答えがあるはずです。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（気持や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



10日 土曜

ヨハネⅡ



1:1 長老から、選ばれた婦人とその子どもたちへ。私はあなたがたを本当に愛しています。私だけでなく、真理を知っている人々はみな、愛しています。

1:2 真理は私たちのうちにとどまり、いつまでも私たちとともにあるからです。

1:3 父なる神と、その御父のイエス・キリストから、恵みとあわれみと平安が、真理と愛のうちに、私たちとともにありますように。

1:4 御父から私たちが受けた命令のとおり、真理のうちに歩んでいる人たちが、あなたの子どもたちの中に入っているのを知って、私は大いに喜んでいます。

1:5 そこで婦人よ、今あなたをお願いします。それは、新しい命令としてあなたに書くのではなく、私たちが初めから持っていた命令です。私たちは互いに愛し合ひましょう。

1:6 私たちが御父の命令にしたがって歩むこと、それが愛です。あなたがたが初めから聞いているように、愛のうちに歩むこと、それが命令です。

1:7 こう命じるのは、人を惑わす者たち、イエス・キリストが人となって来られたことを告白しない者たちが、大勢世に出て来たからです。こういう者は惑わす者であり、反キリストです。

1:8 気をつけて、私たちが労して得たものを失わないように、むしろ豊かな報いを受けられるようにしなさい。

1:9 だれでも、「先を行って」キリストの教えにとどまらない者は、神を持っていません。その教えにとどまる者こそ、御父も御子も持っています。

1:10 あなたがたのところに來る人で、この教えを携えていない者は、家に受け入れてはいけません。あいさつのことばをかけてもいけません。

1:11 そういう人にあいさつすれば、その悪い行いをともにすることになります。

1:12 あなたがたにはたくさん書くことがあります、紙と墨ではしたくありません。私たちの喜びが満ちあふれるために、あなたがたのところに行って、直接話したいと思います。

1:13 選ばれたあなたの姉妹の子どもたちが、あなたによろしくと言っています。

異端への警戒を促す内容ですが、そのためには互いに愛し合うことを勧めています。キリストに逆らう教えは、単に教理という頭やことばだけの問題ではなく、その生き方にも表れるのだということが分ります。

正しい信仰は行いにあるのですから、そのような行いをしましょう。また新しいクリスチャンに正しい信仰を身につけてもらいたいと願いますが、それもやはり先輩クリスチャンの行いにある、すなわち救いの根拠と確信に満ちた喜びの行いなのだということを銘記しましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（気持や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



1:1 長老から、愛するガイオへ。私はあなたを本当に愛しています。

1:2 愛する者よ。あなたのたましいが幸いを得ているように、あなたがすべての点で幸いを得、また健康であるように祈ります。

1:3 兄弟たちがやって来ては、あなたが真理に歩んでいることを証してくれるので、私は大いに喜んでいます。実際、あなたは真理のうちに歩んでいます。

1:4 私にとって、自分の子どもたちが真理のうちに歩んでいることを聞くこと以上の大きな喜びはありません。

1:5 愛する者よ。あなたは、兄弟たちのための、それもよそから来た人たちのための働きを忠実にしています。

1:6 彼らは教会の集まりで、あなたの愛について証しました。あなたが彼らを、神にふさわしい仕方ですり出してくれるなら、それは立派な行いです。

1:7 彼らは御名のために、異邦人からは何も受けずに出て行ったのです。

1:8 私たちはこのような人々を受け入れるべきです。そうすれば、私たちは真理のために働く同労者となれます。

1:9 私は教会に少しばかり書き送りましたが、彼らの中でかしらになりたがっているディオテレペスが、私たちを受け入れません。1:10 ですから、私が行ったなら、彼のしている行為を指摘するつもりです。彼は意地悪なことばで私たちをののしています。それでも満足せず、兄弟たちを受け入れないばかりか、受け入れたいと思う人たちの邪魔をし、教会から追い出しています。

1:11 愛する者よ。悪を見習わないで、善を見習いなさい。善を行う者は神から出た者であり、悪を行う者は神を見たことがない者です。

1:12 デメテリオについては、すべての人たちが、また真理そのものが証しています。私たちも証します。私たちの証しが真実であることは、あなたも知っています。

1:13 あなたに書き送るべきことがたくさんありますが、墨と筆で書きたくありません。

1:14 近いうちにあなたに会いたいと思います。そうしたら、直接話し合います。

1:15 平安があなたにありますように。友人たちが、あなたによろしくと言っています。そちらの友人たち一人ひとりによろしく伝えてください。

ガイオへの励ましと感謝、賞賛のことばに満ちています。私たちはこのようにもっと人への感謝・賞賛を表しても良いのではないのでしょうか。奉仕者、同労者、伝道者やささげる人などに、教会でも感謝と賞賛のことばをかけましょう。それは私たちの心を豊かにします。また人間関係にも影響し、主への感謝にもつながるものです。

対照的にディオテレペスについては警戒を促しています。ガイオが主と人のために生きていたのに対して、ディオテレペスは自分のためというのがその動機になっていたようです。彼は霊的指導者の言うことを「聞き入れ」なかったようです。彼が上に立つか、または別の権威になりたかったからでしょう。自分の意に沿わない人に、意地悪か批判をして「教会から追い出している」というのですから、これは主に敵対していることになりました。

ただ教会では、彼のことは「見習わないで」とありますから、信仰がしっかりした人々が動揺することはありません。ヨハネも信頼できるガイオとそのことを分かち合って、協調して対処しよう

としていることが分ります。

このように教会は主のために生きる人々が一致して、問題に取り組むならば、動揺することはないのです。ガイオのように信頼される者になりたいものです。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（気持や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

